

平成29年度異常気象分析検討会（定例会）

2018.3.5

議事1 会議資料

今年度の活動報告 来年度の活動計画

気象庁 地球環境・海洋部
気候情報課

平成29年度の活動報告（その1）

- 異常気象に関する情報の発表にあたって、要因分析について検討会委員の協力を頂いた
 - ＜4月＞ 南米北西部の大雨について
 - ＜6月＞ パキスタンからインド北西部の熱波について
 - ＜8月＞ 8月前半の北・東日本太平洋側の不順な天候及び沖縄・奄美の高温
 - ＜1月＞ 平成30年1月下旬の寒波
 - ＜2月＞ 平成29年12月以降の低温と大雪
 - ＜3月＞ 平成30年冬の天候と大気の流れの特徴について（本定例会）
- 専門分科会「異常気象のメカニズムと要因分析」の開催（5月）
 - ・ 気象学会2017年度春季大会の専門分科会として開催
 - ・ 官学連携としての本検討会の活動や、現業の気候系診断に関して広く紹介
 - ・ 連携強化によって更なる分析手法の向上を目指す
- 異常気象分析検討会 / 作業部会運営要領改正（5月）

異常気象分析検討会 / 作業部会運営要領改正のポイント

運営主体に係る改正

- **検討会の招集者** (地球環境・海洋部長 長官)
- 作業部会委員の委嘱者 (長官 地球環境・海洋部長)
- 作業部会の招集者 (部会長 地球環境・海洋部長)
- 細目的事項の制定者 (会長 / 部会長 地球環境・海洋部長)

条文の構成・用語等に係る改正

- 作業部会に係る条文は作業部会運営要領に集約
- 条文の記載位置の整理
- その他、用語・用字の修正

平成29年度の活動報告（その2）

- 検討会委員の委嘱、会長等の交代（6月）
 - ・検討会会長が木本昌秀委員から中村尚委員に交代
 - ・検討会会長代理が中村尚委員から向川均委員に交代
 - ・検討会に高薮出委員と高薮縁委員が新任、藤部文昭委員と前田修平委員が退任
- 作業部会委員の委嘱、作業部会長の交代
 - ・作業部会長が渡部雅浩委員から堀之内武委員に交代（6月）
 - ・作業部会に竹見哲也委員と森正人委員が新任、高薮縁委員と渡部雅浩委員が退任（10月）
- 谷本委員、堀之内作業部会長、稲津部会委員と打ち合わせ（12月）
 - ・堀之内作業部会長とiTacsの改善について意見交換
- 異常気象分析ツールiTacsの拡充
 - ・要素の追加（等温位面の風、気圧面の風速）
 - ・LBMバージョンアップに向けた作業（渡部雅浩委員より助言）
 - ・地球流体データ解析・数値計算ワークショップ（地球流体電脳倶楽部主催）における、iTacsの開発に関する意見交換（2018年3月下旬予定）
- 異常気象分析メーリングリスト(extreme_dev)への地方官署の気候業務担当者の追加（予定）

平成30年度の活動計画（その1）

- 分析検討会の開催
 - ・ 3月頃に定例会
 - ・ 異常気象発生時に臨時会
- 任期更新に伴う委嘱手続き
 - ・ 作業部会（3月）
- 研究者向けに提供する資料の準備
 - ・ 異常気象分析に関わる気象研究コミュニティと気象庁の連携強化を図るため、異常気象分析検討会関係者以外の研究者に向けて新たに資料の提供を行ための準備を行う。
 - ・ 研究の活発化による人材育成や新たな知見・分析ツールの導入の促進、資料の品質向上に資する意見・コメントをより広く集めることをめざす。

平成30年度の活動計画（その2）

● 異常気象分析ツールiTacsの開発

・iTacs開発における課題

- 3か月予報データなどの季節予報データや、個々のアンサンブルメンバーの追加
- 描画速度の向上
- データ処理の高度化

・これまでも、iTacsの機能の一部に地球流体電脳ライブラリを活用している。作業部会長の協力の下、「地球流体電脳倶楽部」から協力いただける専門家をiTacsの利用者に登録し、iTacsの開発を更に進めていく。